

平成28年度第2回日進市食育推進委員会議事録

日 時：平成29年2月15日 午後2時から午後3時まで

場 所：日進市立図書館1階 第2・3会議室

出席者：委員9名 事務局6名

〔委員〕安達内美子、竹下穰、小野田笑子、橘由貴子、武田保、岡本光帆、福岡光枝、鏡味美智代、下野房子

〔事務局〕志水浩二（産業振興課長）、蟹江健二（産業振興課主幹）、岩城佳寿（産業振興課）、木村文香（健康課）、榊原裕美（こども課）、松田雅子（学校給食センター）

傍聴者：0名

事務局： 只今より第2回日進市食育推進委員会を始めさせていただきます。

今日は、大変お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

はじめに、会議の定足数についてご報告いたします。

委員10名中、9名ご出席されておりますので、第2回日進市食育推進委員会を開催いたします。

会議に先立ちまして、前回、都合により欠席させていただいた、建設経済部次長兼産業振興課長の志水よりごあいさつさせていただきます。

産業振興課長： 日頃から、当市行政に対しまして多様な形でお力添えをいただき、誠にありがとうございます。

前回の食育推進委員会では、たくさんのご意見をいただきありがとうございました。食をめぐる様々な課題に対して、引き続き皆様と協働して、食育を推進してまいりたいと思います。

本日も、皆様が食について普段感じておられます率直なご意見をいただき、よりよい食育の推進につなげていきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

事務局： それでは、会議に移らせていただきます。

最初に、次第1 あいさつについて、委員長からごあいさつをお願いいたします。

委員長： 皆様、本日はご出席いただきありがとうございます。食育の推進というとなると難しいと感じていらっしゃると思いますが、皆様が普段、気になっていることは何でしょうか。私は、10年以上前から国際協力、特に難民について関心があります。彼らの食の問題をどう解決していくかということも食育に繋がっています。食の問題から食育を考えていくこともできますが、自分の生活の中で気になることを食の面か

ら解決していこうとする中で、食育に繋がっていくということもあると思います。食は自分の生活だけでなく、地域や世界の人々の生活とも密接に繋がっているものであり、食の面から様々な問題を解決していけると思います。

本日の議題は、来年度の実施事業ということですが、自分が気になっている問題が、これらの事業とどう結びついていて、どのように解決に繋がられるか、という観点からもご意見をいただけたらと思いますのでよろしく願いいたします。

事務局： ありがとうございます。ここで、他の公務がございますので、課長は退席させていただきます。

それでは、次第2に移りますが、これより先は委員長に議事進行をお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

委員長： 次第に従って進めさせていただきます。

次第2 平成29年度実施予定事業について、事務局から説明をお願いします。

事務局： 来年度の実施予定事業について、各課の担当者からご説明させていただきます。それでは、産業振興課から順にご説明させていただきます。

産業振興課： 前回の食育推進委員会で、委員のみなさまから、栄養成分表示の活用について市民の皆様にお知らせすることや、食育推進協力店の情報提供を行うと良いとのご意見をいただきました。そのため、6月の食育月間に合わせ、広報にしん6月1日号で見開き2ページを使い、栄養成分表示や食育推進協力店に関する記事を掲載することとしました。

また、内容については未定ですが、今年度に引き続き、日進市生活改善実行グループにより市民講座を実施いたします。伝統料理については、料理について知っていただくだけでなく、伝統食を伝える活動にも興味を持っていただくため、生活改善実行グループによるこれらの活動について、市ホームページで情報提供していきたいと考えております。

その他、産業振興課では、年間を通して、アグリスクールという農学校の事業を実施しています。初級から上級まで分かれており、ご自身に合ったレベルで農業体験をしていただくことができます。それらの農体験を通じて、食の理解を促進していきたくと考えており、来年度も継続実施いたします。

健康課： 健康課では、皆様の健康づくりのために、検診等を実施しております。

先ほど、委員長のごあいさつにもありましたが、食は様々なところに深く密着していますので、検診や教室等、色々なところで、少しずつ食育の要素を取り入れ

ながら進めているところです。

第1回の食育推進委員会でご意見をいただいた、食品の成分表示を活用する人の割合を増やすための事業については、ヘルピー健康だよりでその内容について掲載する予定です。

次に、朝食の摂取割合を増加させる事業についてですが、乳幼児健診やマタニティ教室において朝食についてのお話をさせていただいております。

また、乳幼児から3歳児までの各健診の際に、生活状況についてのアンケートを実施しており、朝食の摂取状況や摂取時間等の質問項目を設けております。アンケート結果を踏まえ、必要に応じて保健師や栄養士が直接お話をさせていただいたり、リーフレットを配布する等の情報提供を行っております。来年度もこの取り組みを続けていく予定です。

次に、伝承料理の継承についてご意見をいただいたと思いますが、食生活改善推進員により、保育園出前講座等で料理を作り一緒に食べているところです。

成分表示については、3月6日から愛知県主催の健康づくりチャレンジ事業が実施され、日進市においても、保健センターと図書館に健康と運動に関する情報ステーションのブースを設け、健康課で作成した栄養成分表示のリーフレットを配布する予定です。

その他、健康課では、にっしん健康マイレージという事業を実施しております。この事業は、食を含めた日頃の健康への取り組みをポイント化し、貯めたポイントにより特典が受けられるというものです。朝食摂取もポイントに繋がるため、食育推進のツールとして活用していただけたらと思っております。

こども課： 保育園では、日々、保育士からの働きかけにより食育を行っております。

保護者に対しては、行事や送り迎えの際の会話、保育園だより、給食カレンダー等で情報提供しています。給食カレンダーの中では、朝食 共食、伝承料理について掲載しています。今年度は、手軽な朝食レシピを全公立保育園に配布しました。

栄養成分表示については、6月広報の他、給食カレンダーにも掲載していきたいと考えております。

学校給食センター： 学校給食センターでは、主に学校給食の提供により食育を行っております。日進市の給食は和食を中心に作っており、伝承料理の継承や地産地消に繋がっています。

毎月の献立表や食育ポスターを、学校での試食会や入学説明会で配布しており、毎月19日の食育の日をPRし、家族で食事を食べるよう啓発しております。また、小学3年生、5年生、中学1年生を対象として、食育に関する1時間の授業

を行っています。

前回の食育推進委員会の中で、朝食と学力の関係を示すといいのではというご意見をいただきましたが、すでに実施しており、給食だよりに掲載しているところでございます。今後もこれらの取り組みを継続していく予定です。

事務局： 本日、学校教育課の担当者が欠席のため、事務局から簡単にご説明させていただきます。

小中学校での米、野菜等の収穫体験を通じて、食の理解を深めると同時に地産地消に繋げております。この取り組みは来年度も継続実施の予定です。

事務局： 各課からの説明は以上です。

委員長： ありがとうございます。

今の説明で、何か意見や質問はありませんか。

委員： 学校給食センターの事業で、小学3年生、5年生、中学1年生に朝食指導を行っているとのことですが、保護者に対する働きかけについてどのようにしていますか。

学校給食センター： 給食だよりに返信欄を設け、各家庭における状況を把握しています。また、返信していただいた内容は、先生方にも資料としてお渡ししています。

委員： 地産地消についてですが、野菜等で日進市の特産と言えるようなものは何かあるのでしょうか。

委員： 農協ではプチヴェールに力を入れている。栄養価も高い。

学校給食センター： プチヴェールの旬は1月～2月頃ですが、旬の時期には学校給食でも取り入れています。甘くておいしく、色もきれいなため、子どもたちも喜んで食べてくれています。

委員： 事業を実施していく上で、目標値はあるのでしょうか。

事務局： 食育推進計画の中で5年毎の目標値を設けております。1年毎の目標値はありませんが、市民意識調査の中に食育に関する質問事項を設けており、現状把握の資料としているところです。

委員長： 各事業について、さらに効果が広がるような工夫があれば、委員の皆様のご意見をいただきたいと思います。

委員： にっしん健康マイレージ事業は、とても良いと思います。このような事業の過去の資料をまとめて見られるように整理しておく、積み重ねてきた市の取り組みが分かって良いと思います。

健康課： 食育に限らないのですが、健康課では年に2～3種類、このような資料を作っており、かなりの種類があります。それらは、市ホームページで公開している他、保健センターの壁一面に掲示し見られるようにしております。

委員： 市ホームページ等で、一箇所にどんどん積み重ねていくといいと思います。

委員長： それぞれの課が積み重ねたものを、繋げて発展させられたら、委員会の意義があると思います。

委員： 広報に食品の成分表示の記事を載せる予定とのことですが、知識が無い人でも分かるよう、「食べる段階まで下ろす」ことが良いと思います。例えば、塩分についてですと、減塩を謳っている製品でも、加工食品には隠れた塩分が多く含まれているということがあります。

事務局： 記事作成の際に検討させていただきます。

委員長： 毎月19日のおうちでごはんについてですが、現在推進している小中学校から対象を広げてはいかがでしょう。

事務局： 毎月19日に家族そろっておうちでごはんを食べましょうという取り組みは良いと感じております。

委員長： 19日は「育児の日」でもありますね。

事務局： そのような意味合いも絡めて、広報に掲載していきたいと思います。

委員長： 家族で食事するだけでなく、高齢者が集まる場等でも、19日はみんなで食事ができるようになると思います。

事務局： 高齢者に対する食育に取り組んでいるNPO法人等をサポートしていけたらと考えています。

委員： おうちでごはんもそうですが、各課がばらばらに動いていると、なかなか全体に広まりづらいのではないのでしょうか。それぞれの取り組みをまとめて発信できたら広まっていくと思うのですが。

事務局： 各課で連携し、まとめて発信していきたいと思います。

委員： 地産地消には、環境に優しい生活を送るという目的もあります。地産地消を進めることにより、物流にかかる資源を削減できるという面があるからです。このような目的を明らかにすることにより、食育も推進していけるのではないかと思います。地産地消で環境に優しい生活を、というのは良いキャッチフレーズにもなり得ると思います。地元の野菜を買うことで、みなさんには環境に優しくしていただいていますと謳うことで、食育が広まっていくと思います。

委員： 地産地消に関連して言うと、もっとプチヴェールの料理方法を知ってもらおうと良いと思います。

委員： プチヴェールを長期保存する方法はあるのでしょうか。

委員長： 旬のおいしい時期に食べることも大切なことですが、加工品にする方法はあると思います。

委員長： 食育の事業については、新たな事業を立ち上げるよりも、既存の事業を工夫して広げていけたら良いと思います。

それでは、続いて次第3のその他について、事務局から説明をお願いします。

事務局： 来年度の第1回食育推進委員会ですが、6月～7月の間に開催させていただこうと考えております。また、現在の食育推進計画は平成26年度から平成30年度までの計画となっていますので、平成30年度には計画の見直し作業を進める必要があります。来年度は、その前段階の作業として、アンケート調査を実施したいと考えており、アンケート内容についても委員の皆様のご意見をいただきたいと思っています。第1回目の委員会で原案をお示しし、ご意見をいただいた後、第

2回目の委員会で、アンケート内容の確定のご報告ができたかと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

委員長： その他、何かご質問はありますか。

委員： 本日配布された第1回食育推進委員会の議事録の11ページの中で、商工会の食品衛生協会の訪問では、栄養士が訪問するのではなく巡回指導員が訪問を行っていますので、訂正をお願いします。

事務局： 訂正いたします。

委員： 先日、イベントで野菜を使う機会があったのですが、この委員会で繋がりができた食育ソムリエの方に親身になってご協力していただき助かりました。

委員長： 私たち自身がそのように食育を発信していくことはとても良いことです。

委員長： ありがとうございます。

すべての議題が終わりましたので、進行を事務局にお返しします。

事務局： 長時間にわたり、ありがとうございます。

皆様にいただいたご意見を今後の食育推進に繋げていきたいと思っております。

これで平成28年度第2回日進市食育推進委員会を終了させていただきます。

本日は誠にありがとうございました。